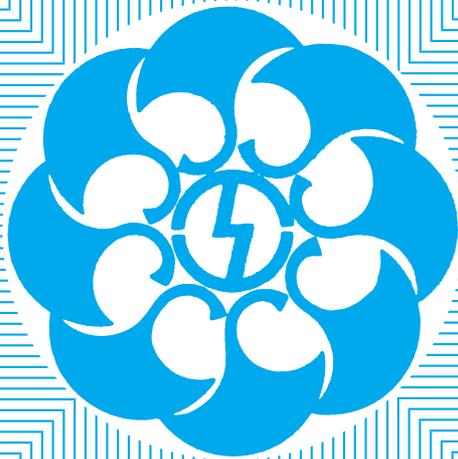


# 会報



社団法人 神奈川県空調衛生工業会

第103号



## 目 次

新年のごあいさつ	会長 川本 守彦	1
新年のごあいさつ	神奈川県知事 松沢 成文	2
新年のごあいさつ	横浜市長 中田 宏	3
新年のごあいさつ	川崎市長 阿部 孝夫	4
平成21年新年賀詞交換会		5
定例理事会議事報告（11月・12月・1月）		6
神空衛版「環境宣言」の策定	企画政策委員会・技術委員会	7
横浜市まちづくり調整局平成20年度合同安全パトロール	安全委員会	9
会員消息		14
編集後記		14



# 新年のごあいさつ

会 長 川 本 守 彦

平成21年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

未曾有の国際金融危機が各国経済を揺さぶり、世界同時不況の下、日本経済も深刻化し、急激な経営環境の悪化を招いています。建設業界では、公共工事の縮減・民間設備投資の抑制等、さらに資材価格問題等が追い討ちをかけ、受注環境は激変の一途をたどっています。また、不動産業・建設産業に対する金融機関の姿勢は厳しさを増し、デベロッパーや建設会社の破綻が相次ぎ、益々深刻な状況となっています。

こうした中、当業界の方向性を考えますと、この様な時だからこそまず第一の課題は、コンプライアンス体制の充実・強化を目指すことだと思います。業界に対する社会の目は依然として厳しく、会員企業の社員一人一人に対してコンプライアンスの一層の浸透を図り、企業の社会的責任を意識した行動に徹する必要があります。

第二に、適正工期の確保に向けた取り組みです。工期のしわ寄せにより生ずる工事原価の上昇や品質・労働条件・安全性等の問題に対する改善に向け、契約全般に関して、その片務性が是正されることが重要です。それはまた、直接受注を強く打ち出している当業界の独自性や地位の確保、そして適正利益の確保につながるものと考えます。

第三に、環境問題です。私たちは建物の新築・改修等を通じて環境保全・省エネルギーを推進してきたという自負がありますが、今後はさらに数値目標等を掲げ、より具体的な行動をとる必要があります。工業会として『神奈川発！！地球にいいこと、ひとつずつ』をスローガンに「環境宣言」を発し、環境保全活動を推進してま

いりたいと思います。

こうした課題を着実にクリアし社会的責任を果たすことが社会的信用を向上させることにつながると考えます。そして、私たちはこれまで社会資本の整備を通して社会・地域に貢献してきた自信と誇りを持って、自助努力していくことを怠ってはならないと思います。

工業会として、会員企業の経営体質の強化、工事量の確保、技術講習会・研修見学会、技術者の資質向上、安全パトロールの実施等に積極的に取り組んでまいりたいと考えます。また、本年の横浜開港150周年記念事業にあたり積極的に協力をしていきたいと思ひます。

最後に会員の皆様とこの難局を乗り越えていく決意と行動を期待し、年頭のご挨拶といたします。

（会長ごあいさつ文中の「環境宣言」については、P7～P8に掲載）





# 新年のごあいさつ

神奈川県知事 松沢 成文

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新たな抱負や願いを胸に新春を迎えられたことと存じます。年頭に当たり、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

去年は、国民生活の安全や安心を脅かす事象が相次いで発生した一年でした。

原油・原材料価格の高騰に加え、世界的な金融危機が顕在化し、わが国の実体経済にも深刻な影響を及ぼしています。また、冷凍食品への農薬混入をはじめ、食品に関する事件・事故が多発したほか、産科・小児科医師不足も依然として深刻な状況が続いています。さらに「振り込め詐欺」の増加や、秋葉原の無差別殺人事件などこれまでにない凶悪犯罪も起こりました。

生活の安全や安心を求める県民の声に応え、不安解消に向けた取り組みを強化することが、行政の最優先課題であると認識しています。

一方、北京オリンピックでは、女子ソフトボールチームが念願の金メダルを獲得するなど、神奈川県ゆかりの選手が大活躍し、私たちに大きな勇気と感動を与えてくれました。今年はずひ、夢と希望に満ちた明るい一年となることを心から願っています。

さて、県では、「神奈川県力を高め、新たな時代を創造する」という基本理念の下、総合計画「神奈川県力構想」に基づき様々な政策に取り組んでいます。

経済の分野では、中小企業向け融資や雇用対策の拡充など、これまで数次にわたる緊急経済対策を実施してまいりました。そして、オール神奈川の力を結集してこの経済危機を乗り越えていくため、金融機関・産業界・労働界・消費

者団体と行政の代表による「神奈川県緊急経済対策連絡協議会」を設置し、現場の実体を踏まえた機動的な対策について協議を開始しています。

また、地球規模の課題である温暖化防止対策については、昨年1月、神奈川発の「地球復興」を呼び掛ける「クールネッサンス宣言」を行い、電気自動車（EV）や太陽光発電の普及推進など、先進的な取り組みを進めています。

保健・福祉の分野では、受動喫煙による健康への悪影響から県民の皆様を守るための「公共的施設における受動喫煙防止条例（仮称）」について、賛否両論、様々なご意見を頂いています。そうしたご意見を踏まえ、社会全体の新たな分煙ルールとして、全国初の条例制定を目指してまいります。

第二期地方分権改革の進展や道州制論議の活発化、財政危機への対応など、今、地方自治を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。今後とも、全国をリードする「先進と協働の神奈川」を目指し、行政改革の徹底と併せ、さらなる県政改革を推進してまいります。皆様には引き続き、県政への温かいお力添えをお願い申し上げます。





# 新年のごあいさつ

横浜市長 中田 宏

あけましておめでとうございます。

本年も、横浜市民一人ひとりが健やかに充実した日々を過ごされるよう、心からお祈り申し上げます。

神奈川県空調衛生工業会の皆様には、大規模地震による災害発生時に、公共建築物の応急措置を行う本市との協定を通じて、市民生活の安全確保に大きく貢献していただき、改めて感謝申し上げます。

さて、新年を迎えたというものの、一昨年サブプライムローン問題以降、原油・原材料価格の高騰などの大きな混乱、金融不安の高まりを受け、世界的規模で経済不況となる中で、横浜市においても厳しい経済・社会状況が続いています。これらの影響の拡大を抑えるために、まずは市内事業者の皆さんに対する支援や、市民生活の安心・安定につながる取組を最優先に進めてまいります。

今年は、いよいよ開港150周年の年です。この機会に、改めて150年間の横浜を巡る人々の足跡に触れ、その労苦を深く感じるとともに、蓄積された英知を生かしつつ、新しい発想も加味した温故知新の精神を持って、50年、100年後の横浜が、更に魅力的な都市となることを皆さんと共に目指してまいります。この開港150周年を記念し、市内の様々なエリアで、新しいスタイルの都市型・市民参加型イベントを繰り広げていきますので、是非会場にお越しいただき、横浜に対するそれぞれの想いを深めていただきたいと思います。

本市は、昨年7月に国から環境モデル都市に選定され、低炭素社会への転換を進め、国際社会を先導すべき役割を担うことになりました。今

年は、脱温暖化行動の本格展開の年と位置付け、環境モデル都市の具現化に向けて、アクションプランを強力に推進してまいります。

さらに、真の地方分権型社会の実現を目指すとともに、国全体の発展と日本の国際競争力の向上に貢献していくため、日本を代表する大都市にふさわしい新たな大都市制度の構想を横浜から提案してまいります。今後の高齢化の進展、生産年齢人口の縮小という流れにあっても、市民の皆さんに必要なサービスを持続的に提供できるよう、横浜の価値を高めることにより、人や企業を惹きつけ、ずっと住み続けたい、活動したいと思える都市づくりを進めてまいりますので、本年も引き続き、皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、神奈川県空調衛生工業会のますますの御発展と、皆様の御健勝をお祈りし、あいさつといたします。



# 新年のごあいさつ



川崎市長 阿部 孝夫

あけましておめでとうございます。

新年を迎え、今年一年が明るい話題にあふれた良い年になることを期待いたしますとともに、皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

全国的に人口が減少している中、本市においては、このところ人口の増加が続いており、年内には140万人を超えることが予測されています。また、市民アンケートでは、「これからも川崎に住んでいたい」という方の割合が、この5年間で10ポイントも増加し、約7割となっています。

これまで、「川崎再生フロンティアプランの着実な推進」「行財政改革の断行」「自治基本条例に基づく市民本位のまちづくり」を三本柱として市政運営を行なってまいりましたが、その成果が着実に現れつつあるものと感じます。

子どもから高齢者まで幅広い世代の方々に、安全で安心して川崎のまちで暮らしていただけるよう、これまで保育所や特別養護老人ホームの整備などに積極的に取り組んでまいりました。しかしながら、待機児童の課題なども残されていますので、総合的な子ども支援施策や高齢者福祉施策を一層充実させてまいります。

また、経済環境が厳しさを増す中、本市では、いち早く「緊急経済対策本部」を設置し、中小事業者の経営支援のための施策を実施してきたところですが、引き続き、地域経済の活性化に向けた取組を進めてまいります。

さらに、低炭素社会への移行が国際社会の喫緊の課題となる中、本市がこれまで蓄積してきた高度で多様な環境技術を活かし、国際貢献につなげ、併せて市内産業の活性化を図るため、この2月には「川崎国際環境技術展」を開催いた

します。

今年、都市機能を高める拠点整備の取組も目に見える形で進んでまいります。川崎駅周辺では、西口の再開発に続き、東口において魅力ある景観の創出やバリアフリー化に向け、駅前広場の整備に着手いたします。武蔵小杉駅周辺では再開発が進み、新たな街なみが誕生しつつありますが、この春には中原市民館をオープンするとともに、横須賀線新駅の開業に向けて整備を進めてまいります。また、登戸・向ヶ丘遊園駅周辺では、区画整理事業を着実に進め、向ヶ丘遊園駅の連絡通路の整備に向けて取り組んでまいります。

本市は、多摩川や多摩丘陵を軸とした豊かな自然、開館5周年を迎えるミュージアム川崎シンフォニーホールをはじめとする音楽・映像などの文化芸術資源、川崎フロンターレなどのスポーツ資源、さらには国内外で活躍する多彩な人材に恵まれています。

今年、ゴールデンウィークに新百合ヶ丘駅周辺で、大々的な「しんゆり芸術祭」が開催されるなど、引き続き、活力と魅力いっぱいの元気都市・川崎の姿にお目にかかれることと思います。市民の皆様の御理解と御協力を賜りながら、今年度の市政を進めてまいります。



## 平成21年新年賀詞交換会



松沢 成文  
神奈川県知事



金田 孝之  
横浜市副市長



榎本 与助  
神奈川県議会議長



吉原 訓  
横浜市長

当会平成21年新年賀詞交換会が1月16日(金)午前11時から、ホテル・ニューグランドで開催されました。

当日は、神奈川県松沢成文知事、横浜市の金田孝之副市長、神奈川県議会の榎本与助議長、横浜市の吉原訓議長をはじめ、地元選出国會議員、国土交通省・自治体幹部、県議会・市會議員、関係団体幹部等の100余名のご来賓を迎えるなど、当会正会員、賛助会員と合わせて約300名が出席しました。

定刻、司会者の紹介により、主催者を代表して川本守彦会長が挨拶に立ち、本日ご出席のご来賓各位に対するお礼を述べられた後、「既に皆様方、多くの新年のご例会等々にご参画のことと思いますが、どこの団体でも大変厳しい話ばかり出ています。振返って見ますと、昨年1年間、先が見えない、不透明感、こういった言葉を多く耳にしたことがあるやに思います。その後どうなったでしょうか。景気を表す表現として、「陰り」「減速」「停滞」「後退」「最悪」、つい最近は「100年に一度の不況」、よくも1年間でこれだけ景況感を表す言葉が変わったものだと痛感をしています。世界同時不況下、まさにこの閉塞感は、ある種どうしようもないものですが、しかしこのまま、われわれは下を向いていいのでしょうか。このような状況下だからこそ、コンプライアンスの一層の浸透を図り、そしてまた、社会的責任を意識した行動に徹し、適正工期を確保し、片務性の是正を目指し、品質確保と適正価格での受注に努める必要があるのではないかと認識しています」と述べられ、続けて、「われわれ世界の喫緊の課題である環境問題に、一番近いところにいる業界として、「環境宣言」を発し、その責務を果たしていきたいと考えています。受付でお配りしました「環境宣言」をご覧くださいと思います。

「社団法人神奈川県空調衛生工業会の全会員は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、環境負荷の軽減に取り組みます。これまで培ってきた省エネ技術を基盤とした、有効な技術の開発に努め、地球環境にやさしい最適なシステムを構築して、地球環境保全に貢献します。」と宣言させていただきました。そして方針としては、2面に同じく掲載させていただいています環境関連法令の遵守を徹底し、環境負荷の低減、技術等の継続的な改善を推進し、広報・啓蒙活動の展開を行い、地球環境活動に積極的に参加し、さらに関連業界との連携を深め、地球環境保全の役割を業界の責務として果たして参りたいと考えています。こういった一連の行動を通して、社会的認知を得て、業界として確固たる地位を確立していきたいと考えています」と述べられ、更に、「われわれは、額に汗して、社会資本の整備を通して、地域に、そして社会に貢献してきた業界、団体であります。その自信と誇りを忘れることなく、われわれ業界自らが主体的に、積極的に業界のあるべき姿を考えていかなければならないと思います。そうすることによって、例えばより良い神奈川県の入札制度も構築されるでしょうし、横浜市においては、予定価格の事前公表も完全撤廃されると確信しています。本日、ご臨席いただきました皆様方のお力添えをいただきながら、積極的に、能動的に取り組んでいきたいと考えておりますので、なにとぞよろしくお願いたします」との挨拶がありました。

続いて、ご来賓を代表して、松沢成文神奈川県知事、金田孝之横浜市副市長から、それぞれご祝辞をいただきました。

次に、ご来賓の国會議員をご紹介の後、神奈川県

議会を代表して榎本与助県議会議長、横浜市会を代表して吉原訓横浜市会議長から、それぞれご祝辞をいただきました。

また、当会顧問の関貞彦前横浜市会議員からもご祝辞をいただきました。

続いて、ご来賓の国土交通省関東地方整備局の野崎明宏設備課長、(社)日本空調衛生工事業協会関東支部長で(社)東京空気調和衛生工事業協会の是常博会長と新会員の共栄産業(株)漆原幹雄代表取締役をご紹介

いたしました。

次いで、ご祝電披露の後、坂山修平(社)日本空調衛生工事業協会専務理事の乾杯のご発声で祝宴に移り、その後、会場に駆けつけていただいた鈴木馨祐衆議院議員、当会顧問の新堀典彦神奈川県議会議員からご祝辞をいただき、ご来賓、正会員、賛助会員の終始和やかな懇談が繰り広げられ、12時30分、清水利治副会長の閉会の挨拶をもって、盛会裏のうちにお開きとなりました。

## 定例理事会議事報告(11月・12月・1月)

### 11月定例理事会

平成20年11月21日(金)午後2時から第435回定例理事会が開催されました。

その議事事項の要旨は次のとおりです。

#### 1. 入会申込について

中村副会長兼総務委員会委員長から、大橋専務理事に対して、入会申込について資料説明が求められました。

専務理事が資料により、「共栄産業株式会社」の入会申込について説明を行い、本件は、理事会前に開催された審査会において、「入会可」の審査結果を得た旨の報告がありました。

この後、理事会として協議した結果、入会審査基準をすべて満たしており、全会一致で入会について承認されました。

#### 2. 平成21年新年賀詞交換会実施計画(案)について

中村副会長から、大橋専務理事に対し、資料の説明が求められました。

専務理事から、配付資料により、当工業会の平成21年新年賀詞交換会実施計画(案)について説明があり、協議の結果、原案のとおり承認されました。

### 12月定例理事会

平成20年12月12日(金)午後3時から第436回定例理事会が開催されました。

その議事事項の要旨は次のとおりです。

#### 1. 平成21年新年賀詞交換会の運営について

中村副会長兼総務委員会委員長から大橋専務理事に対し、資料の説明が求められました。専務理事から、配付資料により、当工業会の平成21年新年賀詞交換会等開催要領並びに同

賀詞交換会当日の役割分担について説明があり、協議の結果、原案のとおり承認されました。

#### 2. 友誼団体等賀詞交換会への出席について

中村副会長から、大橋専務理事に対して、平成21年における友誼団体等の賀詞交換会日程並びに当工業会の出席者(案)について、資料の説明が求められました。

専務理事が配付資料の説明を行い、各団体の出席者について、原案のとおり承認されました。

#### 3. 神空衛版「環境宣言」の策定について

中村副会長から、大内技術委員会委員長に対して、神空衛版「環境宣言」の策定について、資料の説明が求められました。

大内委員長から、神空衛版「環境宣言」について、企画政策委員会、技術委員会合同で構成した「環境宣言作成作業部会」で「環境宣言」の原案を作成した旨、配付資料により説明があり、協議の結果、原案のとおり承認されました。

### 1月定例理事会

平成21年1月16日(金)午前10時から第437回定例理事会が開催されました。

その議事事項の要旨は次のとおりです。

#### 1. 平成21年新年賀詞交換会の運営について

中村副会長兼総務委員会委員長から、大橋専務理事に対し、資料の説明が求められました。専務理事から、配付資料により、当工業会の平成21年新年賀詞交換会の次第並びに同賀詞交換会の役割分担等について、確認のための説明があり、了承されました。

# 環境宣言

神奈川には、うみ・やま・かわの豊かな自然があり、私たちは、その恵みを受けながら、新しい文化を創り出してきました。

私たちが、この豊かな自然を、次世代に継承するためには、「地球環境保全」という現代社会に課せられた責務を果たしていく必要があります。

(社)神奈川県空調衛生工業会は、会員企業が環境保全活動を強力に推進することを目的に、「環境宣言」を発し、環境負荷の低減に努めてまいります。

(社)神奈川県空調衛生工業会の全会員は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、環境負荷の軽減に取り組みます。

これまで培ってきた省エネ技術を基盤とした、有効な技術の開発に努め、地球環境にやさしい最適なシステムを構築して、地球環境保全に貢献します。

本会は

『 **神奈川発！！ 地球にいいこと、ひとつずつ** 』を

スローガンに、全会員とともに、環境保全活動を、推進することを、ここに宣言します。

2009年 1 月

社団法人 神奈川県空調衛生工業会  
会 長 川 本 守 彦



月周回衛星「かぐや (SELENE)」ハイビジョンカメラ (HDTV) による「満地球の出」

## 方針



### 環境負荷の低減

環境関連法令の遵守を徹底し、神奈川の豊かな、うみ、やま、かわの自然環境を守るため、環境負荷の低減、技術等の継続的な改善を推進します。



### 広報・啓蒙活動の展開

環境保全に関する情報を収集し、会員に展開します。会員の意識を高め、正しい設備の運用を、顧客に提供します。

会員による環境の取り組み状況をまとめ、広く内外に公表します。

会員に対し、研究会等を開催し、最適設備を供給するためのスキルアップを図ります。



### 地域社会への環境活動

神奈川県・横浜市などの地域環境保全活動に積極的に参加し、環境保全に関する相互理解、情報提供に務め、地球環境保全の役割を果たします。



### 関連業界との連携

神奈川県内の学会・関連業界・他府県と同業協会等と連携し、互いの情報交換に努め、地球環境保全の役割を果たします。

## (社)神奈川県空調衛生工業会

(社)神奈川県空調衛生工業会は、神奈川県下の空調衛生設備工事業の有力100社の会員からなる団体です。

本会員企業は、長年にわたり神奈川県下のビル・病院・工場・住居などの空調衛生設備工事を通じて、地域社会に貢献しています。



社団法人 神奈川県空調衛生工業会  
〒231-0002

神奈川県横浜市中区海岸通 4 丁目 18 番地  
TEL 045-201-9536 FAX 045-211-2477

ホームページ <http://www.shinkuei.or.jp>

# 横浜市まちづくり調整局平成20年度合同安全パトロール 安全委員会

## 1. 総 評

第38回横浜市公共工事安全パトロール（平成20年度）は、11月12日（水）に横浜市発注の9現場（請負数10）について

- ①墜落、転落、建設機械、土砂崩壊、第三者災害防止への措置
- ②労働衛生管理（酸欠、粉塵、有機溶剤等に関する管理状況）
- ③建設産業廃棄物分別収集の実施（G30推進運動への協力）

上記3項目を重点点検項目とし、安全パトロールチェックリストをもとにパトロールを実施しました。パトロール対象現場の平均出来高は、27.5%（平成19年度 31.4%）で、平均請負金額は4,965万円／件（平成19年度 5,547万円／件）という状況でした。

また、今年度パトロール対象の9現場のうちの1現場は、機械設備工事が空調・衛生工事に分かれて発注されており、10現場（請負数）でパトロールを実施させていただきました。

パトロール対象項目は、18.8項目／現場（平成19年度 17.5項目／現場）と昨年とほぼ同程度です。10現場のうち、当日設備作業員のいない現場が、約半数の5現場あり、作業状況を十分に確認することは出来ませんでした。その現場については、日常の安全管理状況等を書類及び現場代理人とのヒアリングにより確認いたしました。

『産業廃棄物分別収集の実施』については、ほとんどの現場で行われ、また、鉄くず、金属類においては、リサイクルも進められており、『G30』の意識が浸透していることが伺えました。

点検項目の評価としては、『A評価』『B評価』の比率が、99.5%（平成19年度 96.6%）と高く、一部、書類の不備が見受けられましたが、全体として安全管理意識が定着しているものと考えられます。



安全パトロール委員

編成班	氏 名	会 社 名
1班	加藤 久貴	川本工業(株)
2班	松下 昇	日宝工業(株)
3班	小宮 均	三沢電機(株)
4班	石田 哲也	(株)光電社

## ■パトロール対象項目の評価状況

		平成20年度		平成19年度	
パトロール 対象項目	総数	188	100%	192	100%
	A評価	169	89.9%	179	93%
	B評価	18	9.6%	7	4%
	C評価	1	0.5%	6	3%
パトロール項目数/現場		18.8		17.5	

※安全パトロール対象現場数 平成20年度 9現場（請負数10）  
平成19年度 10現場（請負数11）

## ■工事進捗状況の分布

	0%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	平均出来高
平成20年度	0	5	2	2	1	0	27.5%
平成19年度	1	4	2	2	2	0	31.4%

	工期内完成可能	やや遅れる	大分遅れる
平成20年度	8	0	2
平成19年度	10	1	0

## ■請負金額による工事規模の分布

	～2千万	～4千万	～6千万	～8千万	～10千万	～12千万	12千万～	平均請負金額
平成20年度	1	4	1	2	2	0	0	4,965万円/現場
平成19年度	2	5	3	0	0	0	1	5,547万円/現場

## 2. チェックリストによる項目別点検結果

### ①管理体制

項目	平成20年度				平成19年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. 安全管理組織表の掲示	10	10	0	0	11	8	3	0
2. 緊急連絡先一覧表の掲示	10	10	0	0	11	8	3	0
3. 適用事業報告、3・6協定届	10	9	1	0	11	8	3	0
4. 有資格者の確認（免許、終了証の写）	10	6	4	0	11	8	3	0
5. 作業員名簿、健康診断個人表	10	9	1	0	11	8	2	1
6. 安全日誌の記録、指示書の発行	10	8	2	0	11	8	1	2
7. 新規入場者の教育の実施	10	10	0	0	11	9	2	0
8. 救急薬品の備付	10	10	0	0	11	9	2	0
9. 施工体制台帳・安全衛生計画書	10	8	1	1	11	8	3	0
10. 施工体系図の表示	10	10	0	0	11	8	3	0
計	100	90	9	1	110	82	25	3
	100%	90.0%	9.0%	1.0%	100%	74.5%	22.7%	2.7%

### <指摘・指導事項>

- ・適用事業報告書、3・6協定届の不備  
→早急に届出を行うように指示
  - ・有資格者証の本証を携帯していない、必要な資格を有していない  
→本証を携帯するよう指示  
→資格取得の指導をするよう指示（職長・安全責任者、酸欠作業主任者等）
  - ・作業員名簿に作業員の入場日が記入されていない  
→作業員の入場日を記入するよう指示
  - ・新規入場者教育で確認した健康診断日が、期限を過ぎている  
→受診の確認と、実施済みであれば至急受診日を記入するよう指示
  - ・作業員名簿、安全日誌、指示書等、現場に保管されていない  
→現場に保管し、活用するよう指示
  - ・安全衛生管理計画書が掲示されていない  
→早急に作成し、事務所に掲示するよう指示
- 主な指摘事項は、以上のとおりです。一部の現場において書類の管理面での不備が見受けられましたが現場事務所を設置できない現場においても、建築業者、電気業者と協力しあい、詰所の共用や掲示物の工夫をされている現場が多数見受けられるようになり、各現場のご苦労が感じてとれ、感心させられるものがありました。

### ②一般事項

項目	平成20年度				平成19年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. 保護帽の着用（アゴ紐）	6	6	0	0	10	8	2	0
2. 保護具の確保、使用状況（マスク、メガネ）	5	5	0	0	10	8	2	0
3. 現場内の整理整頓、照明	10	9	1	0	10	8	2	0
4. 消火器の設置、喫煙場所の指定	10	10	0	0	9	8	1	0
計	31	30	1	0	39	32	7	0
	100%	96.8%	3.2%	0.0%	100%	82.1%	17.9%	0.0%

今回特にパトロール当日、作業員ゼロの現場が半数近くありましたが、作業されている現場について現場内の照明設備が不十分で薄暗く、工具類が片付けされていない現場が見受けられました。

### ③墜落・転落防止

項目	平成20年度				平成19年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. ローリングタワーの設備等	4	3	1	0	0	0	0	0
2. 脚立足場の使用状況（三点支持、結束）	2	2	0	0	0	0	0	0
3. 開口部の養生は適切か	6	5	1	0	5	4	0	1
4. 脚立の単独使用（架台を使用していないか）	3	3	0	0	3	3	0	0
5. 梯子の使用状況	0	0	0	0	1	0	0	1
6. 安全帯の着用と使用状況	6	6	0	0	7	6	1	0
計	21	19	2	0	16	13	1	2
	100%	90.5%	9.5%	0.0%	100%	81.3%	6.3%	12.5%

当日、半数（請負数5/請負数10）の現場は作業員ゼロでした。その作業現場の中で、ローリングタワーの使用に当たりストッパーを使用していない等の取り扱いの不備が有りました。

改修工事の現場が多い（約6割）ということもあり、簡易に利用できる脚立・伸び馬を使用する現場が増えてきています。また、最近はそれらを使用している際の事故事例も増えていきます。脚立・伸び馬とも使用する場合は、作業員に対し、安全な使用方法について十分な指示・指導をする必要があると考えられます。

開口部の養生でスリーブの処理をそのまま放置しておく歩行中のつまずきや脚立の脚が入り込んで脚立の転倒が考えられます。速やかに処理をする必要が有ります。

#### ④ガス・電気溶接

項目	平成20年度			平成19年度				
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. ボンベの転倒防止措置	0	0	0	0	0	0	0	0
2. ボンベに使用責任者名、空・充の表示	0	0	0	0	0	0	0	0
3. ホース、ゲージに損傷、ホースバンド	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 溶接機の使用許可証、使用責任者名	0	0	0	0	0	0	0	0
5. ホルダー、キャブタイヤ等に損傷	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 自動衝撃防止措置	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-

今回、使用している現場は、ありませんでした。

#### ⑤重機・クレーン

項目	平成20年度			平成19年度				
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. 車輛系建設機械の特定自主検査証	0	0	0	0	1	0	1	0
2. クレーンの過巻防止装置等	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 立入禁止措置、監視員等の措置	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 用途外使用時の措置	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 玉掛用具の使用状況	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 点検記録(日常点検記録)	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 高所作業車の措置	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	1	0	1	0
	-	-	-	-	100%	0.0%	100%	0.0%

今回、使用している現場は、ありませんでした。

#### ⑥電気設備

項目	平成20年度			平成19年度				
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. 配(分)電盤の行先表示	6	4	2	0	5	5	0	0
2. 電気取扱責任者の明示	3	1	2	0	5	5	0	0
3. アースの接地状況	6	5	1	0	5	5	0	0
4. 電動工具の使用状況	5	5	0	0	5	3	1	1
計	20	15	5	0	20	18	1	1
	100%	75.0%	25.0%	0.0%	100%	90.0%	5.0%	5.0%

##### <指摘・指導事項>

- ・配(分)電盤の行き先表示無し  
→行き先表示を取り付けるように指示。
- ・電気取扱責任者の明示無し  
→早急に明示するように指示。
- ・アースの接地状況はドラムにアースの無い物を使用していました。  
→使用禁止にしてアース付のドラムに交換するように指示。

#### ⑦その他

項目	平成20年度			平成19年度				
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. 地山の掘削の状況	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 土止め支保工の状況	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 不安全作業、行動の有無	4	4	0	0	1	1	0	0
4. 酸欠防止対策、換気方法	3	3	0	0	1	1	0	0
5. 加工場・資材置き場の整理整頓	9	8	1	0	4	3	1	0
計	16	15	1	0	6	5	1	0
	100%	93.8%	6.3%	0.0%	100%	83.3%	16.7%	0.0%

##### <指摘・指導事項>

- ・加工場・資材置き場の整理整頓で一部の現場で有機溶剤と一緒に保管されてました。  
→早急に片付けるように指示。

#### ⑧安全対策・G30活動状況

現場を統括管理している建築業者主催の災害防止協議会にはほぼ全社が出席し、協議会での審議事項及び諸官庁からの伝達事項等、月1回の災防協を開催し関係各社へ周知を図っています。

又、事業主パトロールもほとんどの会社で実施されて会社を挙げての安全活動が身につけてきました。

とかく小規模な現場では、安全が忘れられてしまうような時に、会社を挙げての安全活動を行う事により、現場の大小にかかわり無く、全ての作業現場に安全対策が浸透していくものと思います。

『産業廃棄物分別収集』については、ほとんどの現場が、分別収集をし資源の再利用に取り組んでいます。各現場での産業廃棄物に関する意識は、昨年より更に定着しています。

改修工事(使用しながらの作業)が半数を超えるようになり作業上の安全管理・第三者への災害防止への配慮、現場事務所のない現場での施工管理など、現場を進めていく上でより高いレベルでの確な管理を要求される状況が年々増加しております。今後は、安全管理を効率的・効果的に行うためにも各作業員が現場に入場する際『事業主による作業員への送り出し教育』、『現場における新規入場者教育』を更に充実させ、また『現地KY』を確実に実施することが必要と感じました。

最後にあたり、横浜市御当局、(社)横浜建設業協会、(社)横浜市電設協会の皆様のご指導、ご協力を得まして無事パトロールを遂行できましたことを厚く御礼申し上げ、報告とさせていただきます。

尚、この報告書は、神奈川県空調衛生工業会のホームページに掲載されています。ご参照ください。

ホームページアドレスは、<http://www.shinkuei.or.jp/>

◎ 平成20年度 第38回横浜市合同安全  
パトロールに参加して

安全委員会委員  
三沢電機(株) 小宮 均

平成20年11月12日(水)横浜市まちづくり調整局、(社)横浜建設業協会、(社)横浜市電設協会と当空調衛生工業会による合同安全パトロールが実施されました。

本年度で第38回を迎えましたこの合同パトロールに第3班の要員として参加させていただきました。

私自身、このパトロールに例年、参加させていただいておりますが、今年は更に物件数が減少して9現場を4班と縮小になりました。又、工事内容、工事規模ともに、既設建物の改修工事が、大半を占めるようになり、小規模、短期間の現場が増えてきております。又、仮設事務所、資材置場等の工事占有スペースを確保できない現場も、見受けられる様になり、これからの現場管理の新たな苦勞の一面が伺い取れる現場が増えてまいりました。共有化等の工夫により、現場として各業者間に一体感が生まれ、現場がスムーズに進捗していくという状況も見受けられるようになってきました。更に、居ながら（施設を運用しながら）の現場が多くなり、施設の業務エリアと工事の作業エリアのはっきりした区分をすると共に、第三者傷害等の事故に一層の注意を払わないといけないような現場が多くなってきました。

したがって、安全管理面に於いては、第三者、



近隣への安全、環境に対する配慮が今まで以上に重要となってきております。

また、一般的に不安全行動が災害要因の90%近くを占めているといわれるように、作業員一人一人のモラルを問われる現場が増えてきていると感じられ、現場入場時の「送り出し教育」「新規入場者教育」の重要性を再認識しました。

今後とも、災害防止に労を惜しむことなく、安全活動に寄与していきたいと思っております。

最後に、業務多忙の中、パトロールに御同行いただいた堤 安全委員長、小堀副委員長に厚く御礼申し上げます。





## 平成21年 元旦

川本工業株式会社	川本電気水道株式会社	高砂熱学工業株式会社	(社)神奈川県空調衛生工業会	山羽工業株式会社	須賀工業株式会社	株式会社光電社	三沢電機株式会社	ダイダン株式会社	熱研プラント工業株式会社	東洋熱工業株式会社	日宝工業株式会社	株式会社ヨコレイ	正和工業株式会社	新菱冷熱工業株式会社	文化興業株式会社	株式会社朝日工業社	三機工業株式会社	興和工業株式会社	興信工業株式会社	東京ガスエネワーク株式会社	公認会計士・税理士 奥津勉事務所	株式会社光電社	日宝工業株式会社	東海気熱株式会
彦治寿章弘正夫明隆徹臣竹守清彦一英眞永創孝義勉洋喜雄	守利正 康博和正 嘉眞 正憲俊 充 義政	本水本村橋根本地澤畑軒 木井藤村内竹 堀尾菅津須賀嵐口	川清山中大山山築三小東関鈴有佐中大松堤小奥大五堀	長長長長 事務理事 (総務) 〃 理事 (財務) 理事 (企画政策) 〃 理事 (渉外) 〃 理事 (研修) 〃 理事 (情報) 〃 理事 (技術) 〃 理事 (安全) 〃 監 〃 〃 〃 〃	会長 会長 会長 〃	相 談 〃	役 〃																	

## 会員消息

### 《賛助会員》

#### ◎事業所所在地変更

・株式会社金門製作所 東京支店  
(変更日 平成20年12月)

新 〒170-0002  
東京都豊島区巣鴨5-9-8  
TEL 03-5980-5035  
FAX 03-5980-5045

旧 〒113-0023  
東京都文京区向丘2-3-6  
TEL 03-3830-3723  
FAX 03-3830-3707

## 編集後記

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。年末から年始に掛けて天候にも恵まれ、新たな目標に向かって良いスタートを迎えられたと思いますが、いかがでしょうか。

さて昨年末より政局を見ますと麻生内閣の支持率低下、解散総選挙の時期、定額給付金の支給方法など政治の迷走・不透明感、大手製造業減産に伴う派遣切りなど相変わらず暗いニュースが多く見受けられます。

しかし今年は横浜開港150周年を迎え、各種イベントなどで神奈川県全体が活気付き我々も盛り上げていきたいと思えます。神奈川が元気なら、きっと日本全体が元気になります。今年も皆様の力を合わせ『神奈川発元氣』を合言葉に盛り上げていきましょう。

最後に2009年という年が皆様にとって素晴らしい一年になりますよう陰ながら祈念しております。

(T.F)

### 直結給水ブースタポンプ

(社)日本水道協会認証

## PURE FRESSURE

[ピュアフレッシャー]



口径20~50mm



口径75mm



3台ローテーション・2台並列運転形

● 管端コア内蔵形バルブ標準装備(吸込・吐出し側)

飲料水のより高い安全性と、配管の耐久性に配慮しました。  
※口径75mmはフランジ接続

● ステンレス製キャビネット

ステンレス製キャビネットを標準で採用しました。

● ACリアクトル標準装備

高調波を抑制するとともに、力率を改善します。

● 高性能

ステンレス製多段渦巻ポンプMVFA型を搭載。  
高効率で、省エネルギーを推進します。

キャビネットタイプは **B O B** [ボブ] と **R・a・c・s・e** [ラクッセ] におまかせください。  
小規模ビル用・コンパクト形 中・大規模ビル用・大水量形



### 荏原テクノサーブ株式会社

神奈川支店 〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-9-1  
厚木営業所 〒243-0034 厚木市船子142  
湘南営業所 〒251-8502 藤沢市本藤沢4-2-1 (株)荏原製作所P0棟  
相模原営業所 〒229-0006 相模原市淵野辺3-20-15

<http://www.et.ebara.com/>

☎(045)472-0611  
☎(046)229-6011  
☎(0466)83-7300  
☎(042)730-6131

# TOTO

衛生陶器並附属金具  
各種水栓金具  
洗面化粧台・浴槽  
給湯機  
受水槽・高架水槽  
システムキッチン設計施工  
ユニットバスルーム設計施工

創業明治29年・TOTO(株)特約店

## 丹羽窯業株式會社

本社・横浜営業所  
横浜市中区日ノ出町1-103 045(241)5321

東京営業所  
東京都台東区台東1-27-7 03(3822)0267

目黒営業所  
東京都目黒区南3-15-4 03(3718)4135

湘南営業所  
藤沢市善行6-19-1 0466(82)6120

さがみ営業所  
相模原市上溝2370-6 042(764)7177



新しい、  
時代のために

# kanzai

管工機材・住宅・ビル設備機器・プラント機材・国内外総合会社

## 日本管技センター株式会社

本社：〒104-8401 東京都中央区八丁堀 2-23-1 エンバイヤビル TEL 03(5541)5111(大代表) FAX 03-5541-5115  
配送センター：〒136-0082 東京都江東区新木場 3-2-4 TEL 03(3522)1261(代表) FAX 03-3522-1265

# HOCHIKI

防災・防犯・通信技術で  
社会や環境を守る  
「安心の総合防災企業」、  
ホーチキ。



平成18年6月1日から、新築住宅には  
「住宅用火災警報器」を設置しなくてはなりません。

住宅火災で最も多い原因は「逃げ遅れ」によるもので、その死者数の割合は全体の約6割を占めます。  
住宅用火災警報器はその「逃げ遅れ」の予防策として、火災を早期に見つけて音でお知らせします。

### ■本社

〒141-0021 東京都品川区上大崎2丁目10番43号  
TEL. 03(3444)4111

### ■横浜支店

〒221-8660 横浜市神奈川区栄町5番地1 横浜クリエーションスクエア8階  
TEL. 045(451)3380

### ■川崎営業所

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町15-5 十五番館ビル11階  
TEL. 044(246)4840

# ホーチキ株式会社

# azbil

グループ

創業1906年 山武の進化  
人を中心としたオートメーション

山武は「計測と制御」の技術をもとに、建物や環境にかかわる省エネルギー・省力・快適・安全・利便性を追求し、企画・開発から販売・サービスまでの一貫体制を確立。建物経営をバックアップする最適なソリューションをご提供しています。

## 建物から社会へ、地球環境へ



## 株式会社 山武 ビルシステムカンパニー 横浜支店

〒220-8144 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー  
TEL.045-224-1550 <http://jp.azbil.com>

azbilは山武グループのシンボルマークです。

Marketing

Planning

Creative

Printing

 **株式会社 D-サイト**

〒221-0013 横浜市神奈川区新子安1丁目35番10号

TEL.045-439-3433 (代) 担当:吉川 FAX.045-402-8462

TEL.045-439-3451 (制作部)

bestcommunication:マーケティング・企画・制作・印刷

**会 報**

第103号 平成21年1月31日

社団法人 **神奈川県空調衛生工業会**

横浜市中区海岸通4丁目18番地

TEL 045 (201) 9536 (代)

U R L:<http://www.shinkuei.or.jp>

E-mail:[info@shinkuei.or.jp](mailto:info@shinkuei.or.jp)

情報委員会

印刷 株式会社 D-サイト